

少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～少年教育推進目標～

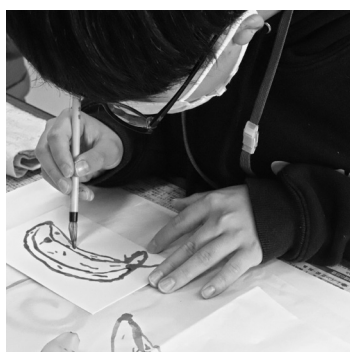
“休みの日、何をして楽しもう？”湧ゆう湧くわく体験塾が「絵手紙」を描きました

湧ゆう湧くわく体験塾では、11月18日に上湧別コミュニティセンターで町内の4年生から6年生の13名の塾生が「絵手紙」に挑戦しました。この日は町内で絵手紙教室を主宰している関戸京子氏を講師にお招きし、絵手紙の基礎や描き方のコツなどを学び、素敵な絵手紙を完成させました。

初めに「青墨」を使い、筆でぐるぐる模様を描く筆遣いの練習をしました。続いてリンゴ、バナナ、カキ等の題材をよく見て、輪郭を描く練習をしました。

次は、いよいよ、はがきに描いていきます。最初はこぢんまりと描いていた児童も先生のアドバイスを受けて、はがき一杯の迫力ある絵を伸び伸びと描きました。できあがった輪郭に「顔彩」で色を乗せていきます。色と色がにじんで混ざり合い、絵手紙独特の風合いとなります。仕上げにメッセージを書いて出来上がりです。お互いの出来上がった作品を見に行き子ども達同士で感想交流をしている姿が見られました。


最後は、児童の感想発表、講師の先生へのお礼をしてみんなで出来上がった絵手紙をもって集合写真を撮りました。写生で描く絵とは違った味わいの暖かな雰囲気絵手紙を描くことができました。



明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

クロスカントリースキー教室の参加者を募集しています

子どもからお年寄りまで幅広い年齢層で楽しめる「クロスカントリースキー」の教室を開催します。クロスカントリースキーを長年行っている方を講師に、基本的な走法や坂道の上り方を学ぶことができます。今回は初級者の方向けの内容ですので、未経験者大歓迎です。

日 時	令和6年1月27日（土）10時00分～11時30分 ※受付は9時45分から行っています。
場 所	五鹿山スキー場（ロッジ前集合）
講 師	●鈴木 義弘さん（中湧別北町在住） 湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会37回出場経験あり ●石川 克己さん（錦町在住 スポーツ推進委員） 湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会15回出場経験あり
対 象	町内に在住する小学生から一般成人の初級者 定員 20名（定員になり次第締め切ります）
持 ち 物	スキーウェアなどの防寒着、 クロスカントリースキー用具（スケーティング走法用）、着替え ※用具については、1月5日（金）から中湧別総合体育館にて貸し出してありますのでご利用ください。
受 講 料	無 料
申 込 方 法	1月18日（木）までに申し込みフォームまたは社会教育課まで電話でお申し込み下さい。 申込み先：湧別町教育委員会 社会教育課 電 話 5-3132 FAX 5-3710  申込フォームはこちら
保 険	スポーツ安全保険に加入希望の方は申し込みの際にお伝えください。 ・中学生以下は800円 ・高校生以上は1,850円（65歳以上は1,200円）



高齢者は町の知恵袋 豊かな経験を地域で生かそう～高齢者教育推進目標～

「オホーツクの鉄道『石北本線』の歴史と魅力」チューリップ生きがい大学が講演会を行いました

チューリップ生きがい大学は11月15日に講演会を実施しました。

生きがい大学の8回目の活動は「北見工業大学地域貢献プログラム」として、同大学の白川龍生准教授を講師にお迎えし、「オホーツクの鉄道『石北本線』の歴史と魅力」と題した講演会を行いました。講師の白川先生は「サロマ湖100kmウルトラマラソン」で、完走20回で称号が与えられる「グランドブルー」を、お父様と共に親子2代で達成しているとのことで、講師の自己紹介から大いに盛り上がりました。



はじめに、道路・鉄道の成り立ちから始まり、続いて石北本線の歴史や魅力へと話はつなが

っていきました。石北本線は、湧別屯田と北見屯田を結ぶための湧別軽便線（湧別～遠軽～野付牛）から始まっているそうです。現在は湧別に鉄道はありませんが、かつては石北本線や名寄本線、湧網線を利用していた町民の方が多くいました。

また、生きがい大学の学生の中には国鉄やJRのOBの方もいます。開通当時の石北本線は、川沿いの曲がりくねった鉄路や、北見峠、常紋峠という峠を越えることから当時のSLにとってはかなりの難所だった

そうです。石北トンネルや常紋トンネルの工事は強制労働を伴う過酷な工事であり、多くの犠牲者の上に現在の暮らしが築かれてきたことが分かります。

質疑応答では、最近の石北本線の車両の乗り心地が悪くなったのは、車両の入れ替えによって導入された軽量車両が原因であることや、季節によって乗り心地が変わることなどの説明がありました。

現在、地方の鉄道は利用者の減少によって、便数が減り、そのため更に利用者が減るという負のスパイラルになっています。しかし、線路上を走る鉄道は自動運転に向いているため都市部から自動運転車両の導入が始まっています。近い将来、自動運転車両による農産物の大量輸送など、今とは違った姿の鉄道が見られるかもしれません。出席した学生の皆さん、最後まで熱心に話を聴き学びの多い講演会となりました。



芸術・文化は未来を生きるヒント 創造力と豊かな心を育てよう

e-sportsプログラミング体験「マイクラフト」が実施されました

11月26日に文化センターTOMに設置してあるゲーミングPCを使用したe-sportsプログラミング体験「マイクラフト」が小・中学生を対象に開催され、全11名の参加がありました。

講師の高千穂大学経営学部准教授 齋藤大輔先生の進行に合わせて、NTT e-sportsの方が参加者のサポートをしていただき、遅れる参加者がいないように進められました。

小学生の部では、マイクラフト内で使えるプログラミング学習ツールMake Code（メイクコード）を体験しました。プログラムが入った「ピース」をパズルのように組み合わせることで、Agent（エージェント）と呼ばれるキャラクターを操作し、建築物を作成しました。中には、ご家庭でマイクラフトをやっている方もいて、難しいプログラムの作成にチャレンジし、苦戦を楽しんでいる様子が見られました。



中学生の部では、難易度が上がりPython（パイソン）というものを体験しました。パイソンは、小学生の部で実施したプログラムが入った「ピース」がなく、プログラミングコードをゲームPCに直接打ち込み、エージェントを操作するというものです。やっとの思いで打ち込んだプログラムですが、いざ実行してみるとうまく動かなかったり、間違った場所にブロックを置いてしまったりと、試行錯誤を繰り返しながら夢中で取り組んでいました。

中学生の部では、難易度が上がりPython（パイソン）というものを体験しました。パイソンは、小学生の部で実施したプログラムが入った「ピース」がなく、プログラミングコードをゲームPCに直接打ち込み、エージェントを操作するというものです。やっとの思いで打ち込んだプログラムですが、いざ実行してみるとうまく動かなかったり、間違った場所にブロックを置いてしまったりと、試行錯誤を繰り返しながら夢中で取り組んでいました。

教育委員会委員に井上久恵さんを再任

11月30日任期満了に伴う湧別町教育委員会委員に井上久恵さんを再任いたしました。委員の任期は、12月1日から4年間となります。

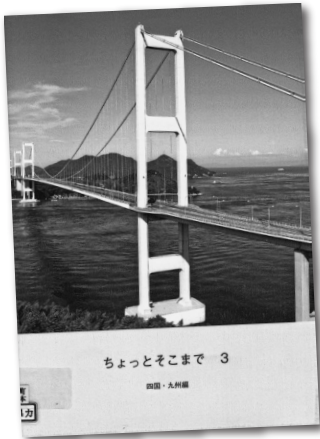
現在の教育委員は、次のとおりです。

【敬称略】

職名	氏名	住所	職業	任期年月日
教育長	阿部 勉	栄 町	—	令和8年3月20日
教育長 職務代理者	岩佐 雅弘	緑 町	神 官	令和6年11月30日
教育委員	井上 久恵	上湧別屯田市街地	自 営 業	令和9年11月30日
教育委員	森谷 和洋	中湧別東町	会社役員	令和7年11月30日
教育委員	喜多 友美	芭 露	看 護 師	令和8年11月30日

図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう～図書館活動推進目標～

新しく受入れた「郷土資料」をご紹介します



「ちよっとそこまで3」
～四国・九州編～
嘉藤晃男／著

嘉藤さんは、今まで自身で撮影された写真に文章を加え自費出版をされています。タイトルは「ちよっとそこまで」今回はシリーズの第3巻で、四国と九州の旅です。山と海の近さ、その土地特有の地形と自然、歴史や文化が伝わってきます。自費出版された本がありましたら、ぜひ図書館にご寄贈ください。



「北のとびら VOL.131」

公益財団法人北海道文化財団が発行する冊子「北のとびら」の中で、水彩画家の伊藤英二さんが紹介されました。

また、11月23日付けの北海道新聞でも伊藤さんの活躍が紹介されています。

【図書館で知る】

図書館では「湧別町」に関する新聞記事や町のことが紹介された冊子類の収集を行っています！

湧別町に関する情報をお探しの場合は、図書館を頼ってください。

中湧別図書館で開催していた特別展示を12月1日～1月30日まで、湧別図書館でも開催します。
楽しい「パン屋さん」の展示です。
遊びに来てね！



中湧別図書館「読み聞かせ会」のお知らせ

【日 時】 1月20日（土曜日）

13:30～14:00

【場 所】 中湧別図書館 おはなしコーナー

年末～1月の図書館休館日

令和5年12月30日(土)～令和6年1月4日(木)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)、31日(水)

*図書館休館日に返却される方は、玄関にあるブックポストをご利用ください。

【開館時間】 10:00～18:00

【貸出冊数】 ひとり何冊でも借りられます。

【連絡先】 中湧別図書館 電話 2-3150
lib-n@town.yubetsu.lg.jp

【貸出期間】 2週間

湧別図書館 電話 5-3122
lib-y@town.yubetsu.lg.jp

埋蔵文化財シリーズ72
令和5年度発掘調査

自然科学分析から考える 擦文文化の暮らし

博物館だより
—ふるさと館 JRY・郷土館—
【第167号】

11月18日、ふるさと館JRYで遺跡調査報告会を開催しました。報告内容は今年度の発掘調査成果の速報と、自然科学分析によって明らかになってきた擦文文化の暮らしについての研究報告でした。

今年の竪穴も擦文ばかり！

今年の調査報告会には、町内外から約40名の方々に参加いただきました。

1つ目の報告は、林学芸員が「シブノツナイ竪穴住居群の調査速報」と題して行いました。一番の調査成果は、竪穴の形状から縄文文化の竪穴と考えられるものが擦文文化のものだと確認できたことです。この3年間で発掘された計10基の竪穴はどれも擦文文化のもので、シブノツナイ竪穴住居群は擦文文化の時期に集中的に形成された遺跡であるという特徴が明らかになってきました。このような大規模竪穴群は国内にはほとんどなく貴重な遺跡です。



調査報告会開会の様子

シブノツナイの謎を解く2つの分析



擦文の人の「食」について報告する國木田先生

2つ目の報告は、北海道大学大学院文学研究院の國木田准教授が「自然科学分析から考える擦文文化の暮らし」と題して行いました。報告された自然科学分析の成果は、①放射性炭素年代測定、②炭素・窒素同位体比分析の2つです。

①は竪穴から発見された炭化木材を分析することで年代を数値で示せる、②は土器に付着した「おこげ」を分析することでどのような食材が煮炊きされたのか推定できるというものでした。シブノツナイではキビ等雑穀を多く食べていた可能性が考えられるようです。

シブノツナイの分析成果が様々な遺跡と比較され、特徴や新発見がよくわかる内容でした。なぜシブノツナイ竪穴住居群という遺跡ができたのか、今後少しずつ謎が解明されていきそうです。

湧別町生涯学習情報「湧く湧く」2023年12月号 No.167

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099-6404 北海道紋別郡湧別町栄町 219-1
<https://www.town.yubetsu.lg.jp/>

印刷…中湧別印刷(中湧別南町)発行…令和5年12月25日

記事へのお問い合わせは下記へ

* 社会教育課社会教育グループ…電話：01586-5-3132 F A X：01586-5-3710
メール：shakyo@town.yubetsu.lg.jp

* 湧別図書館…電話：01586-5-3122 F A X：01586-5-3256

* 中湧別図書館…電話：01586-2-3150 F A X：01586-2-3190

* ふるさと館 JRY…電話：01586-2-3000 F A X：01586-2-3200